

# 平成27年度財務状況公表

団体名：本別町

## 総合評価

### 債務償還能力

〔地方債等の債務の大きさと、その償還原資を確保する能力〕

留意すべき状況にはないと考えられる

### 資金繰り状況

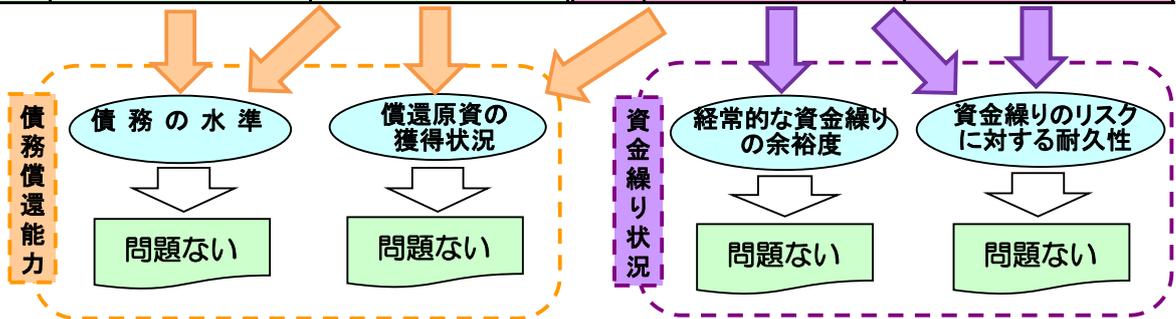
〔経常的な収支と積立金等の備えからの資金余裕状況〕

留意すべき状況にはないと考えられる

## 財務指標

(平成27年度決算)

指標	① 実質債務月収倍率 $\left( \frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12} \right)$ ※一月当たり収入の何ヶ月分の債務があるかを見る指標	② 債務償還可能年数 $\left( \frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}} \right)$ ※一年間で生み出される償還原資の何倍の債務を抱えているかを見る指標	指標	③ 行政経常収支率 $\left( \frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}} \right)$ ※収入からどの程度の償還原資を生み出しているかを見る指標	④ 積立金等月収倍率 $\left( \frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12} \right)$ ※一月当たり収入の何ヶ月分の積立金があるかを見る指標
	注意	24.0月			問題なし
やや注意	18.0月	15.0年	やや注意	10.0%	3.0月
問題なし	7.6月	6.0年	注意	0.0%	1.0月



## 今後の見通しと留意点

### (1) 財政健全化への取組

貴町はこれまで、「公債費負担適正化計画」(計画期間:平成18~23年度)に基づき、地方債の起債抑制・平準化により、地方債現在高の圧縮に努めてきたことや、「第4次本別町行政財政改革大綱」(計画期間:平成23~27年度)に基づき、事務事業再編・整理、民間委託推進、補助金等見直し、人件費削減(給与改定・職員配置見直し)等を実施してきたことにより、現時点において財務状況は問題の無い水準で推移している。今後は人口減少等による地方税及び地方交付税の減少や大型事業の実施により、償還原資である行政経常収支の減少や実質債務の増加が見込まれることから、中長期的な収支計画策定の検討を含め、引き続き健全な財政運営に努めていくことが望まれる。

### (2) 病院事業会計への繰出

普通会計から病院事業に対する繰出金は、医師不足の常態化による医業収益の減少等から平成22年度以降、平成24年度を除いて、繰出の上限としている300百万円を超えて推移している。本別町国民健康保険病院中長期計画に基づきインターネット医師募集サイトの活用などによる医師確保対策等に取り組んでいるものの、今後も同様の繰出しが必要と見込んでいる。繰出金増加は、債務の償還原資である行政経常収支の低下要因となることから、普通会計に与える影響(財政負担)に留意していく必要があると考えられる。

### (3) 地方創生に向けた取組

貴町は、地域の『稼ぐ力』の増強を図る取り組みとして基幹産業である農林業の振興対策のため、6次産業化による商品開発や農林産物の高付加価値化を推進してきた。その結果、特産品の売り上げが増加しており、特に「豆類」加工品に関しては、豆をモチーフとしたキャラクターが広く浸透した影響で、町民にも高い認知度となった。それらの販路拡大等により地域ブランドが確立されることで、貴町の魅力が広く発信され、産業活性化や雇用創出、観光産業の振興や移住促進等につながる事が期待される。